

## 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発について

委員名 竹田 和義

所属 医師会

---

### I 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発の目的

1. 認知症の人(MCI含)やその家族の視点からみた認知症に関連する情報を得ることが出来る。感じることを得ることが出来る。
2. 実際に使用した結果(配布状況・反応)を通じて、より認知症の人と家族の声をいかした認知症 安心ガイドブックが出来る。

### II. 方法

1. 目的に沿った今年度のケアパス普及啓発のための個人計画書を作成。
2. 以下「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書」に沿って実施し、「認知症 安心ガイドブック利用の実施評価表」で評価する。

## 平成30年度「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書

### 1. 今年度の目標

医師会会員への『安心ガイドブック』の内容等の啓蒙の継続

### 2. 方法

#### 2-1(1) 使用者(誰が)

医師あるいは看護師

#### 2-1(2) 相談者(誰に対して)

本人あるいはその家族

#### 2-1(3) 使用する場所

医療機関にて

#### 2-1(4) 使用目的と利用法(どのように使用したいのか)

制度についての説明に用いる

#### 2-1(5) 結果の記録

例:別紙ワークシート2への記録

## 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発について

委員名 橋詰 雅志

所属 小金井歯科医師会

### I 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発の目的

1. 認知症の人(MCI含)やその家族の視点からみた認知症に関連する情報を得ることが出来る。感じることを得ることが出来る。
2. 実際に使用した結果(配布状況・反応)を通じて、より認知症の人と家族の声をいかした認知症 安心ガイドブックが出来る。

### II. 方法

1. 目的に沿った今年度のケアパス普及啓発のための個人計画書を作成。
2. 以下「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書」に沿って実施し、「認知症 安心ガイドブック利用の実施評価表」で評価する。

## 平成30年度「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書

### 1. 今年度の目標

認知症患者の早期発見や発症後のサービスの受け方など

### 2. 方法

#### 2-1(1) 使用者(誰が)

歯科医師・スタッフ

#### 2-1(2) 相談者(誰に対して)

患者当人・家族

#### 2-1(3) 使用する場所

診療室の窓口及び待合室

#### 2-1(4) 使用目的と利用法(どのように使用したいのか)

どのようなサービスがあるか

#### 2-1(5) 結果の記録

例:別紙ワークシート2への記録

## 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発について

委員名 田中 智巳

所属 薬剤師会

### I 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発の目的

1. 認知症の人(MCI含)やその家族の視点からみた認知症に関連する情報を得ることが出来る。感じることを得ることが出来る。
2. 実際に使用した結果(配布状況・反応)を通じて、より認知症の人と家族の声をいかした認知症 安心ガイドブックが出来る。

### II. 方法

1. 目的に沿った今年度のケアパス普及啓発のための個人計画書を作成。
2. 以下「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書」に沿って実施し、「認知症 安心ガイドブック利用の実施評価表」で評価する。

## 平成30年度「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書

### 1. 今年度の目標

前年の目標である、薬剤師会会員への『安心ガイドブック』の内容等の啓蒙の継続と、より、薬局窓口での具体的な、使用方法の提案。

### 2. 方法

#### 2-1(1) 使用者(誰が)

私が

#### 2-1(2) 相談者(誰に対して)

#### 2-1(3) 使用する場所

#### 2-1(4) 使用目的と利用法(どのように使用したいのか)

安心ガイドブック内の、薬剤師の日常業務では馴染みの無い用語の、解説書を作成し、再度、勉強会等で啓蒙の上、薬局窓口での相談業務のツールとして利用してもらう。

#### 2-1(5) 結果の記録

例:別紙ワークシート2への記録

# 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発について

委員名 菊池 里香

所属 桜町病院

## I 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発の目的

1. 認知症の人(MCI含)やその家族の視点からみた認知症に関連する情報を得ることが出来る。感じることを得ることが出来る。
2. 実際に使用した結果(配布状況・反応)を通じて、より認知症の人と家族の声をいかした認知症 安心ガイドブックが出来る。

## II. 方法

1. 目的に沿った今年度のケアパス普及啓発のための個人計画書を作成。
2. 以下「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書」に沿って実施し、「認知症 安心ガイドブック利用の実施評価表」で評価する。

## 平成30年度「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書

### 1. 今年度の目標

より多くの来院者がガイドブックを目に出来るようにする

### 2. 方法

#### 2-1(1) 使用者(誰が)

院内スタッフ

#### 2-1(2) 相談者(誰に対して)

患者・家族・関係機関

#### 2-1(3) 使用する場所

院内外来スペース・地域医療連携室

#### 2-1(4) 使用目的と利用法(どのように使用したいのか)

手に取りやすい場所に置き、気軽に見てもらえるようにする。  
認知症について知りたい方、困っている方などの相談時に使用～説明する。  
講演会や相談会などでガイドブックの案内をする

#### 2-1(5) 結果の記録

例:別紙ワークシート2への記録

## 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発について

委員名 林 絵美子 所属わそら街なかナースステーション

### I 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発の目的

1. 認知症の人(MCI含)やその家族の視点からみた認知症に関連する情報を得ることが出来る。感じることを得ることが出来る。
2. 実際に使用した結果(配布状況・反応)を通じて、より認知症の人と家族の声をいかした認知症 安心ガイドブックが出来る。

### II. 方法

1. 目的に沿った今年度のケアパス普及啓発のための個人計画書を作成。
2. 以下「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書」に沿って実施し、「認知症 安心ガイドブック利用の実施評価表」で評価する。

## 平成30年度「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書

### 1. 今年度の目標

「認知症安心ガイドブック」を地域住民に広めることで、地域住民と共に認知症の人の見守りネットワークをつくる事ができる

### 2. 方法

#### 2-1(1) 使用者(誰が)

訪問看護師としての私(林)

#### 2-1(2) 相談者(誰に対して)

地域住民

#### 2-1(3) 使用する場所

- ・三楽会館
- ・貫井北町5丁目集会所
- ・わそら街なかナースステーション小金井(仮称)

#### 2-1(4) 使用目的と利用法(どのように使用したいのか)

地域のサークル会にお邪魔して、「認知症ガイドブック」の説明及び、参加者からの相談を受け、必要時地域の包括支援センターに繋げる。

#### 2-1(5) 結果の記録

例:別紙ワークシート2への記録

# 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発について

委員名 川村 八千代

所属 本町センター

## I 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発の目的

1. 認知症の人(MCI含)やその家族の視点からみた認知症に関連する情報を得ることが出来る。感じることを得ることが出来る。
2. 実際に使用した結果(配布状況・反応)を通じて、より認知症の人と家族の声をいかした認知症 安心ガイドブックが出来る。

## II. 方法

1. 目的に沿った今年度のケアパス普及啓発のための個人計画書を作成。
2. 以下「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書」に沿って実施し、「認知症 安心ガイドブック利用の実施評価表」で評価する。

# 平成30年度「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書

## 1. 今年度の目標

- ・認知症の方が安心して地域で暮らしてゆくために、地域の町会や商店会などへの普及啓発を行っていく。
- ・家族会では、ガイドブックの勉強会など開催していきたい。

## 2. 方法

### 2-1(1) 使用者(誰が)

本町高齢者在宅サービスセンター 家族会担当者・相談員など

### 2-1(2) 相談者(誰に対して)

- ・介護者の集いの参加者
- ・地域住民
- ・町内会の方

### 2-1(3) 使用する場所

- ・小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター
- ・けやき通り商店会に所属する商店
- ・本町2丁目町会

### 2-1(4) 使用目的と利用法(どのように使用したいのか)

- ・家族会へ参加された方が、スムーズに相談や受診、地域の活動や支援がわかるよう説明する。
- ・町会や地域の商店会の方が認知症の理解を深めることができ、地域で暮らす高齢者のために声掛けや支援が出来るようにしたい

### 2-1(5) 結果の記録

例:別紙ワークシート2への記録

## 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発について

委員名 三井 比呂子

所属 介護相談室ぬくいケアプラン

### I 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発の目的

1. 認知症の人(MCI含)やその家族の視点からみた認知症に関連する情報を得ることが出来る。感じることを得ることが出来る。
2. 実際に使用した結果(配布状況・反応)を通じて、より認知症の人と家族の声をいかした認知症 安心ガイドブックが出来る。

### II. 方法

1. 目的に沿った今年度のケアパス普及啓発のための個人計画書を作成。
2. 以下「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書」に沿って実施し、「認知症 安心ガイドブック 利用の実施評価表」で評価する。

## 平成30年度「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書

### 1. 今年度の目標

1. 居宅介護支援事業所のケアマネに、再度ガイドブックの使用方法等の説明を行い、活用して頂けるよう周知を図る。
2. 利用者ご本人ご家族へのアンケートを行い、ガイドブックへの感想、要望を集める。
3. 一般市民への周知及び感想や意見を集めることを検討する。

### 2. 方法

#### 2-1(1) 使用者(誰が)

1. 三井
2. 三井及び可能であれば、市内居宅介護支援事業所ケアマネ
3. 三井

#### 2-1(2) 相談者(誰に対して)

1. 市内居宅介護支援事業所のケアマネージャー
2. 市内介護保険サービスご利用者及びそのご家族
3. 市内のおおよそ40代以降の市民

#### 2-1(3) 使用する場所

1. 居宅支援系グループ・グループ会で時間を作って頂くことを検討。難しい場合は書面を配布することを検討。
2. アンケートを作成し、自事業所ケアマネを中心に協力頂けるケアマネに配布・回収をしてもらう。
3. 市民の集まる場や団体に協力を依頼してみる。

#### 2-1(4) 使用目的と利用法(どのように使用したいのか)

1. ケアマネージャーに、ガイドブックの使用方法等を知って頂き、実務に活用してもらえるようにする。
2. 在宅介護中の方々の、必要な情報が得られる内容になっているか等感想・意見を集め、より良いガイドブックになるよう検討出来る。
3. これから認知症についての知識が必要になるであろう市民の方々に、参考となる内容であるか、感想・意見を集める。

#### 2-1(5) 結果の記録

例：別紙ワークシート2への記録

## 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発について

委員 閑野 英子

所属 ケアサポート 湧

### I 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発の目的

1. 認知症の人(MCI含)やその家族の視点からみた認知症に関連する情報を得ることが出来る。  
感じることを得ることが出来る。
2. 実際に使用した結果(配布状況・反応)を通じて、より認知症の人と家族の声をいかした認知症 安心ガイドブックが出来る。

### II. 方法

1. 目的に沿った今年度のケアパス普及啓発のための個人計画書を作成。
2. 以下「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書」に沿って実施し、「認知症 安心ガイドブック利用の実施評価表」で評価する。

## 平成30年度「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書

### 1. 今年度の目標

- ・昨年よりも、更に「認知症安心ガイドブック」を普及させるため、意見を収集する。

### 2. 方法

#### 2-1(1) 使用者(誰が)

- ・ケアサポート 湧 閑野 英子

#### 2-1(2) 相談者(誰に対して)

- ・ケアサポート 湧の常勤者の家族、近隣の住民、友人
- ・ケアサポート 湧のヘルパー

#### 2-1(3) 使用する場所

- ・事務所、近隣、友人宅

#### 2-1(4) 使用目的と利用法(どのように使用したいのか)

- ・昨年よりももっと周知してもらい、より詳しい反応を知りたい。  
そのためにアンケートを実施しそれを集約する。
- ・ヘルパーと認知症について勉強会を実施し、その際「認知症安心ガイドブック」を活用し、感想も聞く。

#### 2-1(5) 結果の記録

例:別紙ワークシート2への記録



## 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発について

委員名 認知症地域支援推進員

所属 地域包括支援センター

### I 「認知症 安心ガイドブック」普及啓発の目的

1. 認知症の人(MCI含)やその家族の視点からみた認知症に関連する情報を得ることが出来る。  
感じることを得ることが出来る。
2. 実際に使用した結果(配布状況・反応)を通じて、より認知症の人と家族の声をいかした認知症 安心ガイドブックが出来る。

### II. 方法

1. 目的に沿った今年度のケアパス普及啓発のための個人計画書を作成。
2. 以下「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書」に沿って実施し、「認知症 安心ガイドブック 利用の実施評価表」で評価する。

## 平成30年度「認知症 安心ガイドブック」普及啓発のための計画書

### 1. 今年度の目標

各地域包括支援センターが認知症の相談窓口であることを周知する

### 2. 方法

#### 2-1(1) 使用者(誰が)

各地域包括支援センター職員が実施する。

#### 2-1(2) 相談者(誰に対して)

各地域包括支援センターの総合事業相談者、認サポ、認知症相談会参加者、さくら体操の参加者に対して実施する。

#### 2-1(3) 使用する場所

各地域包括支援センター、相談者自宅、さくら体操会場

#### 2-1(4) 使用目的と利用法(どのように使用したいのか)

認知症に限らず、2-1(2)で関わった方に配布し、認知症を身近な病気だと知ってもらう

#### 2-1(5) 結果の記録

実施評価表に記録する